



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第58号

平成25年6月



巻 頭 言

副会長 田 中 政 彦



目には青葉山時鳥初松魚の頃を過ぎ今まさに自然界は万物成長の真っ只中にあります。目に眩しい青さが力強くその生命力を想起させて、もはや新設医科大学ではない埼玉医科大学の躍進と重なって感じられるのは小生以外の同窓生も同様であろうかと思ひます。さて埼玉医科大学医学部は今年も新卒 99 名 (100%), 既卒 2 名 (0%), 総数 99 名 (98%) の医師国家試験合格者を輩出し、かつて我々同窓生がそのとき時の国試のときに体験した、不確定さに基づくなんともいえない不安感など知る由もありません。大変に誇らしいことであり、一同窓生として感激の極みでもあります。

この高い合格率が維持できておりますのは、丸木清浩理事長の力強いリーダーシップは云うに及ばず、歴代の学長先生に脈々として受け継がれている医学教育への情熱と、節目節目で大所・高所から下していただいたご英断に寄与するところが大きいと感じています。我々同窓会もそれぞれの節目節目にオール埼玉医科大学の一員として、よい協力体制を堅持しつつ我々が出来ることを肅々と積み重ねてまいりました。その結果として僅かばかりではありますが、埼玉医科大学が発展してゆく方向性に寄与できてきたのではないかと自負している次第です。

前々回の本誌に山内俊雄名誉学長が埼玉医科大学雑誌 (第 38 巻, 第 2 号) に特別寄稿された『「すぐれた臨床医」育成の現状と課題』と題された論文の別刷りを添付させていただきましたので既にご承知の同窓生も多いこととは思いますが、その中で紹介されている「すぐれた臨床医」が備えるべき知識・技能・態度として要約されているものは、

- ・理解し、考えるための基本的知識、専門職に求められる知識と技能を身につけていること【基本的知識と技能】
- ・聞く力、伝える力、話す力、対人関係能力、国際感覚、社会性、協調性があること【コミュニケーション能力】
- ・考える力、理解する力、判断する力、論理的に推論する力、分析する力、統合する力、発見する力、想

像する力があること【思考・推理・判断・分析能力】

- ・持続力, 集中力, 自立 (律) 心, 克己心, 向上心, 知的好奇心, 感動する心があること。責任感, 柔軟性, 包括力, 省察力, 高い動機, 自信, 誇り, 自己肯定, 自尊心を持っていること【持続・集中・自立 (律)・克己】
- 【好奇心・感動・動機】
- 【自己肯定・誇り・自信】
- ・情緒性, 倫理観, 豊かな心, 利他の精神, 思いやる心, 忖度する心, 生命への畏敬, 謙虚, 感謝の念があること【情緒・倫理・利他・謙虚・尊厳】

でありました。この中に埼玉医科大学が教育の指針として満たすべきすべての項目が示されていると思います。この紙面をお借りしてこの検討の議論にご参加いただいたワーキンググループの皆様へ深謝申し上げます。次第です。

昭和 53 年の本学第 1 回の卒業式以来 35 年の歳月が過ぎて、我々の子弟が医師となって活躍する時代になりました。この 35 年間に本学はさまざまな革新 (innovation) の連続を繰り返し、それが伝統 (tradition) として築かれつつあります。我々はこの伝統を後輩に伝えてゆかねばなりません。そしてこの伝統の中に優れた臨床医を育成するという理念がこれからも永遠に中心にあつてほしいと祈念する次第です。私は、地域単位の差はあるにせよ、救急医療現場の疲弊や癌難民の問題などをしばしば目にして、その中で医療を実践している者として、優れた臨床医とは何かと自問する日々が続いています。そしてその時々思い出すのは、諸先生方に教えていただいた医師としての生き方や人としての生き方です。先代の本学理事長の丸木清美先生は卒業式などの折りにふれ、仲間 (同窓生) を大切にしなさい、命を大切にしなさい、良き隣人として医師として存在しなさいと我々に語りかけておられました。埼玉医科大学の設立の理念がそこに凝集されている気がしますし、今になって思うと我々が医師として何らかの社会貢献をしてゆくときの原点がここにあると感じます。おそらくこのことが次世代に伝えなくてはいけない大変重要な事だと思ひます。

お 知 ら せ

第15回埼玉医科大学医師会産業医研修会開催のお知らせ

平成25年度(第15回)産業医研修会(基礎―後期・実地、生涯―更新・実地・専門)の日程が決まりましたのでお知らせいたします。プログラムは下記の通りです。皆様のご参加をお待ちいたします。

プログラム

第15回埼玉医科大学医師会産業医研修会 2013

10月13日(日)

時 間	テーマ・講師	取得単位内訳
9時50分	挨拶・説明 司会 稲葉 宗通	
10時―12時	(1) 産業医とその活動―業務の基本と新しい局面― 東京大学名誉教授、産業医科大学名誉教授 和田 攻	基礎：後期(2) 生涯：更新(2)
12時―13時	昼食	
13時―15時	(2) これからの特殊健康診断―理解とすすめ方― 東京大学名誉教授、産業医科大学名誉教授 和田 攻	基礎：後期(2) 生涯：専門(2)
15時―16時	(3)働く人々の騒音性難聴 ―現状と予防の実際― 埼玉産業保健推進センター相談員、埼玉県医師会産業医会理事 武石容子	基礎：後期(1) 生涯：専門(1)
16時―18時	(4)労働衛生保護具とその使い方 十文字学園女子大学 教授 田中 茂 他4名	基礎：実地(2) 生涯：実地(2)

10月14日(月)

時 間	テーマ・講師	取得単位内訳
10時―12時	(1)職業がんの現状と対策 中災防労働衛生調査分析センター 所長 清水英佑	基礎：後期(2) 生涯：専門(2)
12時―13時	昼食	
13時―15時	(2)職場のメンタルヘルスケア―症例検討― 埼玉医科大学名誉学長 山内俊雄 埼玉医科大学総合医療センター神経精神科 教授 堀川直史 他4名	基礎：実地(2) 生涯：実地(2)
15時―17時	(3)業務上疾病とその労災補償 石井労働衛生コンサルタント事務所 所長 石井義脩	基礎：後期(2) 生涯：専門(2)
17時―18時	(4)産業医活動の実際(救急処置を含む) パイオニア川越事業所 専属産業医 花石源太郎	基礎：後期(1) 生涯：専門(1)

平成26年度医学部入学試験日程

募集人員 121名(地域枠10名, 研究医枠1名を含む)

推薦入試

募集人員	約10名	試験科目
出願期間	11月1日(金)～11月12日(火)	適性検査Ⅰ(英語系分野45分・理数系分野70分) 適性検査Ⅱ(小論文60分) 面接
試験日	11月17日(日)	
会場	埼玉医科大学(短期大学校舎)	
合格発表	11月20日(水) 午後1時	

一般入試

	前期	後期
募集人員	約60名	約40名
出願期間	12月9日(月)～1月17日(金)	12月9日(月)～2月7日(金)
試験日	一次試験 1月26日(日) 二次試験 2月 2日(日)	一次試験 2月16日(日) 二次試験 2月23日(日)
会場	一次試験 TOCビル(東京 五反田) 二次試験 埼玉医科大学毛呂山キャンパス(短期大学校舎)	
合格発表	一次試験 1月29日(水) 午後1時 二次試験 2月 5日(水) 午後1時	一次試験 2月19日(水) 午後1時 二次試験 2月26日(水) 午後1時
試験科目	一次試験 数 学 60分 (数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 数学A・B。ただし, 数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とする) 理 科 100分 (「物理」, 「化学」, 「生物」の中から2科目を選択) * 下記参照 外国語 80分 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング) 小論文 60分 (基礎学力試験) 二次試験 面接	

* 物理; 「物理Ⅰ・Ⅱ」ただし, 物理Ⅱの選択分野「物質と原子」は「原子, 分子の運動」の範囲, 「原子と原子核」は「原子の構造」の範囲に限り, 両分野とも出題範囲とする。
化学; 「化学Ⅰ・Ⅱ」ただし, 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」は両分野とも出題範囲とする。
生物; 「生物Ⅰ・Ⅱ」ただし, 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」は両分野とも出題範囲とする。

センター試験利用入試

募集人員	約10名	試験科目
出願期間	12月9日(月)～1月17日(金)	一次試験 国語:近代以降の文章 英語:リスニングを含む 数学:「数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱ, 数学B」 理科:「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」の中から2科目を選択 二次試験 小論文, 面接
試 験 日	一次試験 1月18・19・日(土・日)	
	二次試験 3月 2日(日)	
会 場	二次試験 埼玉医科大学毛呂山キャンパス 短期大学校舎・15号館オルコスホール	
合 格 発 表	一次試験 2月26日(水) 午後1時	
	二次試験 3月 5日(水) 午後1時	

平成25年度

埼玉医科大学医学部オープンキャンパス開催のお知らせ

開催日 ; 平成25年7月21日(日)

会場 ; 毛呂山キャンパス
 受付開始 ; 9時

参加を希望される方は、事前にお申し込み下さい。

問合せ先 ; 埼玉医科大学医学部入試事務室
 049-295-1000

または、049-276-1112(同窓会事務局)

* 詳しくは埼玉医科大学ホームページ <http://www.saitama-med.ac.jp/>
 をご覧下さい。

本年度のオープンキャンパスは、7月1回のみです。例年9月に行われている
 オープンキャンパスは、私立医科大学合同入試説明会・相談会に充当されます。
 詳しくはホームページ「医大協 入試」をご覧ください。